



戸田市選出の埼玉県議会議員

【無所属・36歳】

ふみひと

# すがわら文仁



44号 発行者：菅原文仁（刷新の会戸田支部）戸田市本町5-12-26-2F TEL/FAX 048-299-4949  
ホームページ sugawarafumihito.com メールアドレス sawayaka@sugawarafumihito.com

※すがわらレポートは、定期的に発行する気軽な県政報告です。

## 新聞各社の記事に掲載！



菅原文仁氏  
（刷新の会、戸田市）

【質問】県は緑の再生に力を入れ、「彩の国みどりの基金」活用事業は知事の肝いりで始まった。中でも「身近なみどり保全・創出市町村支援事業」は市町村と県が資金を出し合い、公共施設の緑化や植林、森林の保全などに生かすための補助事業。これまで延べ11市町の13万所が緑の再生に貢献してきた。坂戸市では土の広場が緑に生まれ変わった。しかしこの補助金は初期費用には使えない。維持管理費には使えない。維持管理にも補助する制度があれば定着

### 緑の事業に維持管理費を

し、県民ムーブメントにつながるのではないか。

【高橋環境部長】坂戸市では本年度この事業を活用して総合運動公園第一多目的運動場を芝生化した。この事業は、県が初期費用のみ補助し、維持管理は市町村が負担するという役割。「県民参加」を進める事業としては、「県民の自主的な活動を支援する」みどりの埼玉づくり県民提案事業がある。この事業は県民運動のさらなる拡大を図るため、地域の方々が一体となった活動をボランティア団体などから提案してもらうもので、活動を軌道に乗せるための初期の維持管理費用も補助対象。県民提案事業を活用し、緑を育てる活動に自主的に参加してもらえようという取り組み。

埼玉新聞 10月1日

↑埼玉県は、県民が支払う自動車税のうち、500円が基金に積み、集まった約13億円が緑の再生のために補助されますが、維持管理費用の捻出が課題になっております。

例えば、芝生化を推進する場合、芝刈機の燃料代や水道代などといった維持管理の資金に補助があれば、市町村も県民参加が促せます。県民提案事業と市町村支援事業を連携させることで、緑の再生をスムーズに軌道に乗せる事ができるのではないかと思います。

## すがわら文仁（ふみひと）プロフィール

- 略歴■ 昭和50年7月30日 生まれ 現在36歳  
戸田市立美谷本小学校・美笹中学校・県立伊奈学園総合高校・日本体育大学卒業（教員免許取得）明治大学大学院修了（公共政策学修士）元社会体育事業会社代表
  - 政治歴■ 無所属  
平成17年 市議会選挙 1,993票を賜り当選（第2位）  
平成21年 市議会選挙 4,143票を賜り当選（戸田市歴代1位）  
平成23年 県議会選挙 16,350票を賜り当選（戸田市歴代1位）
  - 役職■ 企画財政常任委員会委員（県議会）  
地方自治学会会員 若手政治家養成塾事務局長 戸田市体操協会会長 自治体学会海員 刷新の会幹事長代理
  - 趣味■ 読書 史跡巡り B級グルメ探し
  - 特技■ バク転 のび太並みの早寝
  - 座右の銘■  
上杉鷹山「なせばなる、なさねばならぬ、なにごとく」
  - 夢■ 努力した人が報われる社会の実現
- ※ツイッター、フェイスブックも活用中です！

## 医学部 「私大誘致は可能」 知事、代替案に言及

県内の医師不足対策について、上田清司知事は県議会で30日、「既存の私立医学部の誘致は、可能なアイデアだと思う」と述べた。県立大学（越谷市）への医学部新設の難しさに触れ、代替案として言及した。

本会議の一般質問で、菅原文仁議員（刷新の会）の質問に答えた。「国は検討会を設けて医学部新設の議論をしているが、早急に結論が出るか、まだ分からない」と指摘。「県外の医学部に進学する県出身の学生に手厚い奨学金を与え、引き留める方法もある」との考えも明らかにした。

→埼玉県の医療事情は全国最悪レベルと言われている。人口当たりの医師数は47位、看護師数も47位。特に県北、県西部は全国平均の10分の1以下の医療環境の地域がいくつもある状況です。

日本一高齢化スピードが速い埼玉県。先日もある週刊誌に2035年の医療環境の悪化率は埼玉県が2倍で47位と報道されました。

今、医療環境の充実に取り組みなければ、埼玉県の医療は崩壊しかねません。

今回、私は現実的な目線で、短期、中期、長期の戦略的な取り組みを提言する中で、県議会で初となる「既存の私立医大誘致策」を提言しました。

朝日新聞 10月1日

↓防災ハザードマップは、災害時の地理的なリスクを解り易く示して市民の命を救う道標となるものです。

大震災を経てもなお、各市町村の取り組みが進んでいない状況を指摘しました。

また、危機管理防災部に情報の一元管理を行なうよう求め、改善を行なうという答弁をいただきました。

市町村が作製することになっている。8月末現在、推進は市町村のうち10市町村が作製していないという。床上浸水などに備える「内水ハザードマップ」は8月末現在、過去に浸水被害のあった初市町のうち30市町村が作製していないことが分かった。

一方で、地震が発生した場合に備え、危険地域の被害状況などを予測して被害の低減につなげる「地震ハザードマップ」は8月末現在、64市町村のうち60市町村が作製済み。残り4市町村のうち、3市町も本年度中に作製するという。「液状化危険度マップ」も県の被害想定で危険があるとしている54市町村のうち、49市町村が作製済みであることも明らかになった。

古野淳一危機管理防災部長は未作製の市町村には作製を促す考えを示し、「各種のマップ作製状況は総務部に危機管理防災部が一元的に把握し、管理している」と答弁した。（砂生敏一）

埼玉新聞 10月1日

## 県議会初めての一般質問！！



9月30日13時、本会議場

### 質問の概要

#### 1 知事の公約「日本再生、埼玉イニシアティブ」構想

- (1) (第一戦略) から、24時間在宅介護サービスの展開について
- (2) (第二戦略) から、エコタウンプロジェクトについて
- (3) (第三戦略) から、割れ窓理論で貧困の連鎖をストップについて

#### 2 三期目の行財政改革に向けた決意について

#### 3 狭山茶問題について

#### 4 汚泥処理焼却炉から発生する排ガス測定について

#### 5 市町村の危機管理体制の構築について

- (1) 各種防災ハザードマップの作成について
- (2) 業務継続計画について

#### 6 身近なみどりの保全と創出について

#### 7 医療環境の充実について

- (1) 医師不足解消への取り組みについて
- (2) 「#8000」の時間拡大について

#### 8 教育問題について

- (1) 中高一貫教育の推進について
- (2) 育鵬社の教科書を採択した学校の歴史・公民教育について
- (3) 県立高校の体育祭における国旗掲揚について

#### 9 戸田市の課題について

- (1) 荒川水循環センター上部に太陽光パネルを設置について
- (2) 笹目川の水辺空間の再生の推進について
- (3) 県道練馬川口線のバリアフリー化を延伸について
- (4) 辺島橋の架換え工事について

以上の9項目について質問しました。

市議会とは勝手が異なり、馴れていないところもありましたが、真摯に、そして元気に、戸田市の代表としての提言を行ないました。

その中で、いくつかの成果をあげることが出来ました。中でも、荒川水循環センターの汚泥焼却灰と焼却過程で排出されるガスの測定については、地元を含めて、関心が高い課題です。右にその概要をお知らせします。

(詳細については、10月末に発行する議会レポート、または、県議会のホームページでご確認ください)

## 4. 汚泥処理焼却炉から発生する排ガス測定について (抜粋)

### すがわらの提言・質問

6月定例会で県議会は「放射性物質から県民の安全と安心を守る決議」を議決しております。(すがわらが作成し提案した)

戸田市には、荒川水循環センターがありますが、9月4日に下水汚泥の焼却灰に関する説明会が開かれたところです。そこで、(現在行なっていない) 焼却時に発生する排気ガスの放射性物質の測定をして欲しいという声が上がりました。

周辺住民の心配でもありますので、ぜひ測定していただきたいが、お考えを伺います。

### 下水道管理者の答弁

下水汚泥焼却炉の排ガスに含まれる放射性物質の測定は、現在のところ統一的な方法が定められておりません。国では、近く統一的な測定方法を定め公表するとの事です。県としては、この統一的な方法の確定を受けて、測定を実施したいと考えています。

#### (すがわらの視点)

焼却時の排ガスについては、周辺住民の関心も高く、戸田市からも、この排気ガスの測定についての要望が知事に提出されております。

施設内の上部利用公園の芝生では、週末など子どもたちがサッカーを行なうこともある事から、保護者の不安を解消するためにも、早急に測定をして、住民へ情報提供を行なっていただきたいと強く求めました。

関連する課題として、1日に約30トン発生する、行き場のない「汚泥焼却灰」の問題についても、会派で「固定化しないように早期処理」を要望しております。



埼玉県の医療の脆弱性と地域偏在を指摘しました

※ご意見、ご要望をお待ちしております！

メールアドレス sawayaka@sugawarafumihito.com

戸田市本町 5-12-26-2F TEL/FAX 048-299-4949

ボランティアスタッフも随時募集中です！！